

Scarlett 2i2

Anniversary Edition



Focusrite®

Scarlett 2i2 4th Gen ユーザーガイド
バージョン 7.0

目次

Scarlett 2i2 Anniversary Edition の紹介	3
同梱品	3
システム要件	3
ソフトウェアシステム要件	3
Scarlett 2i2 の使用を開始する	3
Scarlett の電源を投入	3
イーゼースタート	4
Focusrite Control 2 について	7
手動による製品登録	9
各部の名称と特徴	10
フロント・パネルの各機能	12
プリアンプの入力ゲインを設定する	12
Select ボタン	17
48V ボタン (ファンタム電源)	18
Inst (インストゥルメント) ボタンおよびライン入力	19
<0/>Inst<0/>とラインを切り替える際、ゲイン値は最後に設定されていた値に変更 されます。	20
マルチチャンネル・オートゲイン	23
クリップセーフボタン	26
Air モード	27
Output ノブおよびレベルメーター	28
ダイレクトモニターボタン	29
ヘッドフォン出力	32
リアパネルの各機能	33
USB 接続	33
スピーカー出力	34
マイク入力	34
Focusrite Control 2 を Scarlett 2i2 で使用する	35
プリセットの使用 Focusrite Control 2	36
プリセットの保存	37
プリセットの読み込み	38
プリセット名の変更	38
Focusrite Control 2 初期設定	40
Sample rate & clocking タブ	40
デバイス・タブ	40
アプリケーション・タブ	41
リモートデバイス - Focusrite Control 2 モバイル・アプリのインストール	42
Focusrite Control 2 および Scarlett 2i2 のアップデート	43
Focusrite Control 2 のアップデート	43
Scarlett 2i2 のアップデート	44
Scarlett 2i2 製品仕様	45
性能仕様	45
物理的特性と電気的特性	46
チャンネルの順序	47
Scarlett 2i2 入力チャンネル	47
Scarlett 2i2 出力チャンネル	47
Windows の再生と録音チャンネルの管理	47
その他の情報	49
トラブルシューティング	49
著作権および法定通知	49

Scarlett 2i2 Anniversary Edition の紹介

Focusrite の革新の 40 年を記念して、世界で最も人気のあるオーディオインターフェイスを原点に立ち返らせます。Scarlett 2i2 Anniversary Edition は、第 4 世代の最新機能を搭載し、初めて Focusrite の名を冠した有名なチャンネルストリップを思い起こさせる象徴的な ISA ブルーの筐体に収められています。

内部には、Focusrite の第 4 世代 Scarlett マイクプリアンプが搭載されており、69dB の広いゲインレンジで超クリアな収音を実現し、さらに存在感と倍音の豊かさを加える 2 つの Air モードを備えています。Auto Gain や Clip Safe などのワークフロー機能により、セットアップはより速く、より安心して行えます。また Dynamic Gain Halos が瞬時に視覚的なフィードバックを提供し、レベルを常に適切に保てます。ギター、シンセサイザー、マイクのどれを接続しても、Scarlett 2i2 はあらゆるセッションに対応します。

スタジオグレードのコンバーターと、ダイレクトモニタリング対応の高性能カスタムヘッドフォンアンプを備えた Scarlett 2i2 Anniversary Edition は、デスクトップおよびモバイル向けに ISA に着想を得た新しいデザインを採用した Focusrite Control 2 で簡単に操作できます。

これは バージョン 7.0 の Scarlett 2i2 ユーザーガイド。

同梱品

- Focusrite Scarlett 2i2
- USB-C - USB-A ケーブル
- はじめに情報 (箱の蓋の内側に印刷されています)
- 重要な安全情報シート

システム要件

お使いのコンピュータのオペレーティング・システム (OS) が Scarlett 2i2 に対応しているかを確認するには、ヘルプセンターの互換リストをご参照ください。

Focusrite ヘルプセンター : 互換性 <https://support.focusrite.com/hc/en-gb/categories/200693655>

互換性リストは、OS の新バージョンのリリースに応じて随時更新され、ヘルプセンターにてご確認いただけます。

support.focusrite.com

ソフトウェアシステム要件

Focusrite Control 2 がお使いのコンピュータのオペレーティング・システム (OS) に対応しているかを確認するには、ヘルプセンターの互換リストをご参照ください。

Focusrite ヘルプセンター : 互換性 <https://support.focusrite.com/hc/en-gb/categories/200693655>

互換性リストは、Focusrite Control 2 または OS の新バージョンのリリースに応じて随時更新され、ヘルプセンターにてご確認いただけます。

support.focusrite.com

Scarlett 2i2 の使用を開始する

Scarlett の電源を投入

Scarlett 2i2 の電源を投入するには、コンピュータに接続した USB ケーブルをリアパネルの **USB** ポートに接続します。

数秒すると Scarlett が起動し、 USB アイコンが緑に点灯します。

**重要**

本体が起動したにも関わらずコンピュータに認識されない場合は、 USB アイコンが白く点灯します。その場合は以下をご確認ください。

- Focusrite Control 2 がコンピュータにインストールされているか。
- USB ケーブルがリアパネルの **USB** ポートに適切に接続されているか。
- コンピュータの別の USB ポートを使用する。
- 別の USB ケーブルを使用する。

 USB アイコンが赤く点滅する場合は、Scarlett に十分な電源が供給されていないことを意味します。

コンピュータに接続せずに Scarlett 2i2 の電源を投入する方法は、[スタンドアローンモード](#)をご参照ください。

イージースタート

イージースタートは、Scarlett を手順に沿ってセットアップし、Scarlett の使用用途に応じてパーソナライズされたチュートリアルの一覧を作成できるオンライン・ツールです。また、Scarlett の製品登録やバンドル・ソフトウェアのダウンロードなども行えます。

Windows または Mac に Scarlett を接続すると、本体が USB ドライブのような大容量記憶装置 (MSD) としてマウントされます。ドライブを開き、「Click Here To Get Started.url」をダブルクリックします。「Get Started」をクリックすると、イージースタートがウェブブラウザで開かれます。

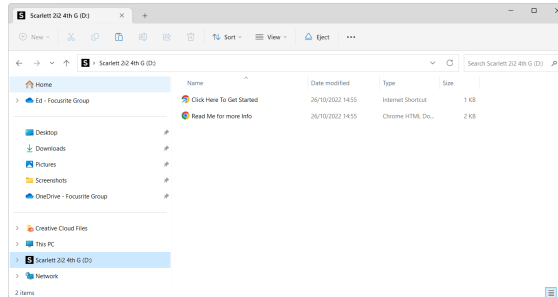
画面の指示に従い必要なソフトウェアをインストールし、Scarlett を使用する準備を行います。

Windows

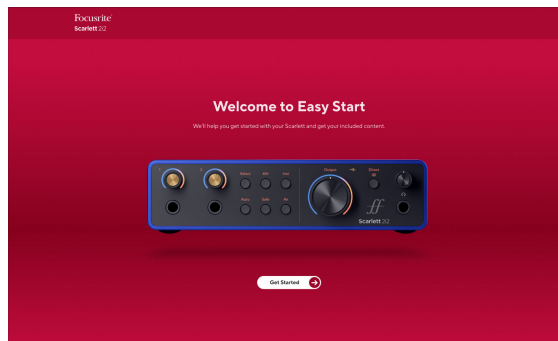
Scarlett 2i2 をコンピュータに接続すると、エクスプローラーに「Scarlett 2i2 4th Gen」というドライブが表示されます。イージースタートはこのドライブから起動できます。

イージースタートを起動するには：

1. エクスプローラーを開きます。
2. Scarlett 2i2 4th Gen (D:) を開きます。ドライブレターは、お使いの環境によって異なる場合があります。



3. Click Here to Get Started をダブルクリックします。Focusrite ウェブサイトが開くので、製品登録を行うことをお勧めします。



4. Get Started をクリックすると、Scarlett の使用用途に応じたセットアップ手順が表示されます。

セットアップの際に、Focusrite Control 2 がインストールされます。インストールされた Focusrite Control 2 を起動し、「Update Scarlett 2i2」をクリックします。<Focusrite Control 2 のアップデート中は、Scarlett をコンピュータから切断しないでください。Focusrite Control 2 のアップデートが完了すると、Scarlett はストレージ・デバイスとしてコンピュータに認識されなくなります。

オペレーティングシステムにて、Scarlett をコンピュータの規定のオーディオ入出力デバイスとして設定する必要があります。

確認方法：Windows タスクバーのスピーカーアイコンを右クリックし、再生デバイスで Scarlett が選択されているかを確認します。

Mac

Scarlett 2i2 をコンピュータに接続すると、デスクトップに Scarlett アイコンが表示されます。Chrome をお使いの場合は、以下のポップアップが表示されます。

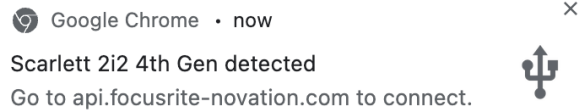
Easy Start イージースタートアイコン:

ダブルクリックしてイージースタートを開始 (手順 1)



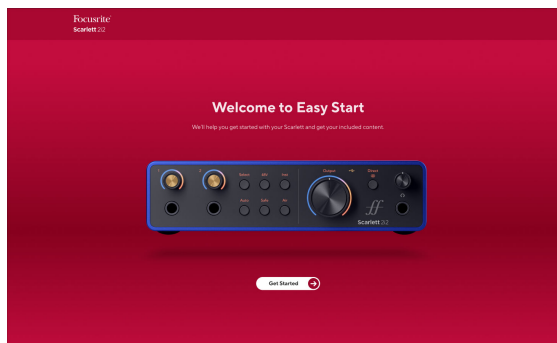
Chrome ポップアップ通知:

クリックしてイージースタートを開始 (手順 2)



イージースタートを起動するには:

1. アイコンをダブルクリックすると、以下の Finder ウィンドウが開きます。
2. Click Here to Get Started をダブルクリックします。Focusrite ウェブサイトが開くので、製品登録を行うことをお勧めします。



3. Get Started をクリックすると、Scarlett の使用用途に応じたセットアップ手順が表示されます。

セットアップの際に、Focusrite Control 2 がインストールされます。インストールされた Focusrite Control 2 を起動し、「Update Scarlett 2i2」をクリックします。<Focusrite Control 2 のアップデート中は、Scarlett をコンピュータから切断しないでください。Focusrite Control 2 のアップデートが完了すると、Scarlett はストレージ・デバイスとしてコンピュータに認識されなくなります。

オペレーティングシステムにて、Scarlett をコンピュータの規定のオーディオ入力デバイスとして設定する必要があります。

確認方法：システム環境設定 > サウンドを開き、再生デバイスで Scarlett 2i2 が選択されていることを確認します。

すべてのユーザー

ドライブ内にある 2 つ目のファイル「More Info and FAQs」を開くと、セットアップで問題が生じた際に役立つ様々な情報にアクセスできます。

製品登録を行うと、以下のリソースにアクセス可能になります。

- Focusrite Control 2 (Mac/Windows 版) - 下記の解説をご参照ください。
- 各国語版ユーザーガイド - downloads.focusrite.com からダウンロード可能です。
- 付属のバンドル・ソフトウェアおよびライセンス・コードへのリンク (Focusrite アカウント内)
Scarlett 2i2 付属のバンドル・ソフトウェアに関する詳細は、Focusrite ウェブサイト (focusrite.com/scarlett) をご参照ください。

Focusrite Control 2 について

Focusrite Control 2 は、Scarlett インターフェースをコントロールするためのソフトウェアです。

Focusrite Control 2 アイコン



Focusrite は、お客様が Scarlett 2i2 を最大限に活用いただけるよう、新機能の追加や改善を施す Scarlett のアップデートを臨時提供しています。Scarlett 2i2 のファームウェアは、Focusrite Control 2 からアップデート可能です。

Focusrite Control 2 を使うと、お使いのモデルに応じて Scarlett の様々な機能をコンピュータからコントロールできます。



注記

Focusrite Control 2 は主要な読み上げソフトウェアに対応しており、Scarlett の各機能のコントロールが可能です。

Focusrite Control 2 のインストール

Focusrite Control 2 は、Windows および Mac に対応しています。Focusrite Control 2 のダウンロードとインストール手順は以下の通りです。

1. Focusrite のダウンロードページにアクセスします。
[focusrite.com/downloads](https://downloads.focusrite.com/focusrite) <https://downloads.focusrite.com/focusrite>
2. お使いの Scarlett を選択します。
3. お使いのオペレーティング・システム (Windows または Mac) を選択し、Focusrite Control 2 をダウンロードします。

4. コンピュータのダウンロード・フォルダーを開き、Focusrite Control 2 インストーラーをダブルクリックします。
5. 画面の指示に従って Focusrite Control 2 をインストールします。
6. まだ接続していない場合は、Scarlett インターフェースを USB ケーブルでコンピュータに接続します。
7. Focusrite Control 2 を起動すると、が自動的に認識されます。



注記

Windows で Focusrite Control 2 をインストールすると、ドライバーも同時にインストールされます。Focusrite Control 2 は、製品登録を行っていない場合でも、

downloads.focusrite.com からダウンロード可能です。macOS で本製品を使用する場合はドライバーは不要で、Focusrite

手動による製品登録

Scarlett の製品登録を後日行う場合は、customer.focusrite.com/register から登録可能です。

その場合はシリアル番号を手動で入力する必要があります。シリアル番号はインターフェースの底面（下側の白い数字）、または梱包箱のバーコードラベルに記載されています。



重要

使用を開始する際は、Focusrite Control 2 のダウンロードをお勧めします。Focusrite Control 2 を起動するとイージースタート・モードが無効になり、ファームウェアが更新され、Scarlett 2i2 のすべての機能が有効になります。

イージースタート・モードでは、サンプルレートが最大 48kHz に制限されています。Focusrite Control 2 をインストールすることで、最大 192kHz の性能を最大限に活用できます。

Focusrite Control 2 は、downloads.focusrite.com からいつでもダウンロード可能です。

イージースタートを手動で無効にする

イージースタートによるセットアップ完了後、Focusrite Control 2 をインストールして起動すると、Scarlett のイージースタート・モードは自動的に無効になります。

Scarlett 2i2 のイージースタートモードが無効にならない、または Focusrite Control 2 をインストールせずにイージースタート・モードを無効したい場合は、以下の手順に従ってください。

1. Scarlett 2i2 の電源をオフにします。
2. **48V ボタン**を押し続けます。
3. **48V ボタン**を押したまま Scarlett 2i2 の電源をオンにします。
4. フロントパネルが点灯したことを確認し、**48V ボタン**を離します。
5. Scarlett 2i2 を再起動します（電源をオフにしたあと再びオンする）。

以上でイージースタートモードは無効になります。

各部の名称と特徴

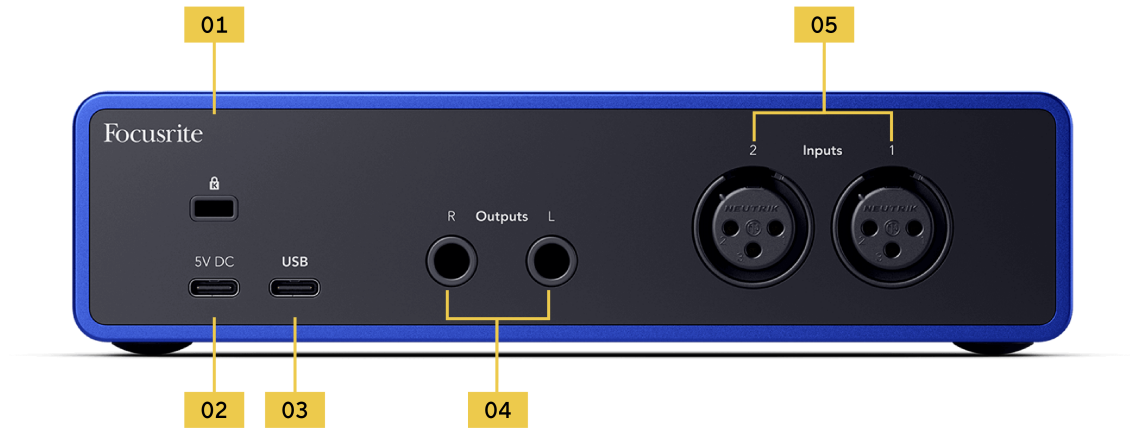
フロントパネル



1. 入力 1 ゲイン・コントロールおよびゲイン Halo - ゲイン・コントロールは、入力レベルを設定します。ゲイン Halo は、ジャック入力または XLR マイク入力の入力レベルとプリアンプのゲイン・レベルを表示します。
2. 入力 1 Neutrik® 6.35mm (1/4 インチ) ジャックソケット - アンバランスモノラル (TS) ジャックおよびバランスモノラル (TRS) ジャックのいずれにも対応し、ラインレベルまたはインストゥルメントレベル信号を入力できます。この入力ソケットにケーブルを接続すると、リアパネルの XLR 入力 1 は無効になります。
3. 入力 2 ゲイン・コントロールおよびゲイン Halo - ゲイン・コントロールは、入力レベルを設定します。ゲイン Halo は、ジャック入力または XLR マイク入力の入力レベルとプリアンプのゲイン・レベルを表示します。
4. 入力 2 Neutrik® 6.35mm (1/4 インチ) ジャックソケット - アンバランスモノラル (TS) ジャックおよびバランスモノラル (TRS) ジャックのいずれにも対応し、ラインレベルまたはインストゥルメントレベル信号を入力できます。この入力ソケットにケーブルを接続すると、リアパネルの XLR 入力 2 は無効になります。
5. Select ボタン - 選択するプリアンプを切り替えることができます。他のボタンで選択中のプリアンプの設定を変更できます。選択中の入力チャンネルの番号は緑色に点灯します。
6. 48V ボタン - コンデンサー・マイクに電源を供給するための XLR マイク入力の 48V ファンタム電源を有効にします。
48V を有効にすると、Scarlett 2i2 の両入力に 48V ファンタム電源が供給されます。
7. Inst ボタン - 選択中の 6.35mm (1/4 インチ) 入力ジャックの信号レベルを、ラインまたはインストゥルメント・レベルに切り替えます。
8. Auto ボタン - オートゲイン機能を開始します ([オートゲインのページ参照](#))。 [20] [20]
9. Safe ボタン - 選択中の入力でクリップセーフ機能を有効にします ([クリップセーフのページ参照](#))。 [26] [26]
10. Air ボタン - AIR モードを有効にします ([AIR のページ参照](#))。 [27] [27]
11. メインスピーカー出力レベルコントロール Output および出力レベルメーター - Output ノブで Outputs R および Outputs L の出力レベルを調整します。メーターは出力レベルを表示します。
12. 
13. Direct ^{Direct} モニターボタン - オフ (白)、オンモノラル (Direct が緑色に点灯)、オンステレオ (^{Direct} が緑色に点灯) の 3 つの設定を切り替えます。

14.  ヘッドフォンレベルコントロール - ヘッドフォン出力レベルを調整します。
15.  ヘッドフォン出力ソケット - TRS 6.35mm (1/4 インチ) ジャックコネクタでヘッドフォンを接続します。

リアパネル



1. 
2. **5V DC** - Scarlett 2i2 に電源を供給するためのオプションの USB-C コネクタ。コンピュータが 1.5A の USB-C 電源を Scarlett 2i2 に供給できない場合に使用します。
3. **USB - Scarlett とコンピュータを接続するための USB-C コネクタ。**
ほとんどのコンピュータでは、データ伝送と電源供給をこの USB ポートのみで行えます。
4. スピーカー出力 **Outputs R** および **L** - Scarlett をスピーカーまたはアンプに接続するための 6.35mm (1/4 インチ) ジャック (TS または TRS) ソケット。出力先の機器がバランス接続に対応している場合は、6.35mm (1/4 インチ) TRS ジャックケーブルの使用をお勧めします。
5. **Inputs 2** および **1** - マイク接続用 3 ピン Neutrik® XLR コネクタ。フロントパネルのラインレベル入力ソケットにケーブルを接続すると、対応する XLR 入力は無効になります。



ヒント

Scarlett 2i2 は、リアパネルにマイク用 XLR 入力、フロントパネルにはインストゥルメントおよびライン・レベル機器用 6.35mm (1/4 インチ) ジャック入力を備えます。

フロントパネルの入力ジャックにケーブルを接続すると、リアパネルの XLR マイク入力が無効になります。XLR 入力にマイクを接続しても音が出ない場合は、フロントパネルの入力ジャックにケーブルが接続されていないことをご確認ください。

フロント・パネルの各機能

本章では、Scarlett 2i2 のフロントパネルのすべての機能を紹介し、Focusrite Control 2 での操作方法についても解説します。

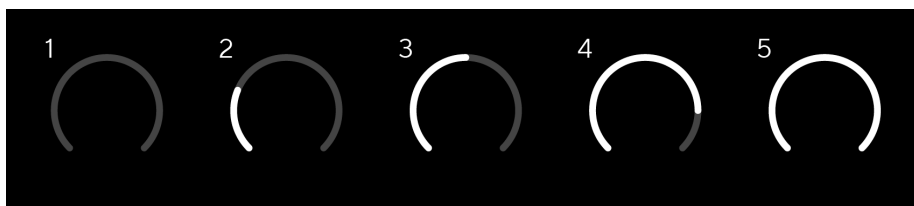
プリアンプの入力ゲインを設定する

プリアンプの入力ゲインを使うと、コンピュータおよび録音ソフトウェアへ送信する信号レベルを調整できます。

最高の音質での録音を行うには、プリアンプの入力ゲインを適切に設定することが重要になります。プリアンプの入力ゲインが低すぎると入力信号が小さくなります。この状態で録音した信号のレベルを上げると、ノイズが大きく聞こえる場合があります。反対にプリアンプの入力ゲインが高すぎると、入力信号がクリップし耳障りな歪みが録音されてしまう可能性があります。

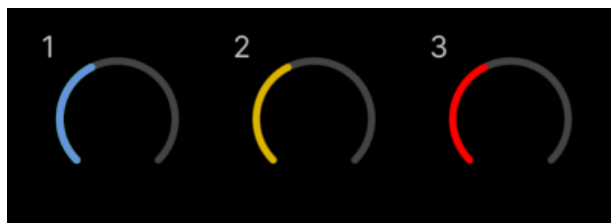
入力ゲインを上げるには、ゲインノブを時計方向に回します。ゲインノブを回すとゲイン Halo が時計回りに徐々に点灯し、ゲインレベルを表示します。ゲインノブの位置と入力ゲイン値の関係は、以下の図の通りです。

1. 入力ゲインなし
2. 入力ゲイン 25%
3. 入力ゲイン 50%
4. 入力ゲイン 75%
5. 入力ゲイン 100%



プリアンプに信号を入力しながら入力ゲインを調整すると、ゲイン Halo はコンピュータへの送信レベルに応じて緑、橙、赤に点灯します。ゲイン・ノブの位置とゲイン値の関係は上記図と同様となります。ゲイン調整後にノブから手を離すと、通常の入力メーター表示に復帰します（入力メーターのページ参照）。

1. ゲイン 40%、適切な信号レベル
2. ゲイン 40%、クリップ寸前の信号レベル
3. ゲイン 40%、信号がクリップ



1. 緑色の点灯は、適切な信号レベルを示します。
2. 橙色の点灯は、信号がクリップ間近であり、これ以上レベルが上がると入力クリップする恐れがあることを示します。
3. 赤色の点灯は、信号がクリップしており、ゲインを下げるべきであることを示します。

ソフトウェアでのゲインコントロール

プリアンプの入力ゲインは、Focusrite Control 2 から調整することも可能です。

Focusrite Control 2 でプリアンプの入力ゲインを調整するには：

1. ゲインを調整したいチャンネルのバーチャルノブをクリックするか、タブキーでプリアンプのゲインコントロールを選択します。
2. ノブをクリックした状態でマウスを上下に動かすか、矢印キーでゲインを調整します ($\pm 1\text{dB}$ 単位)。

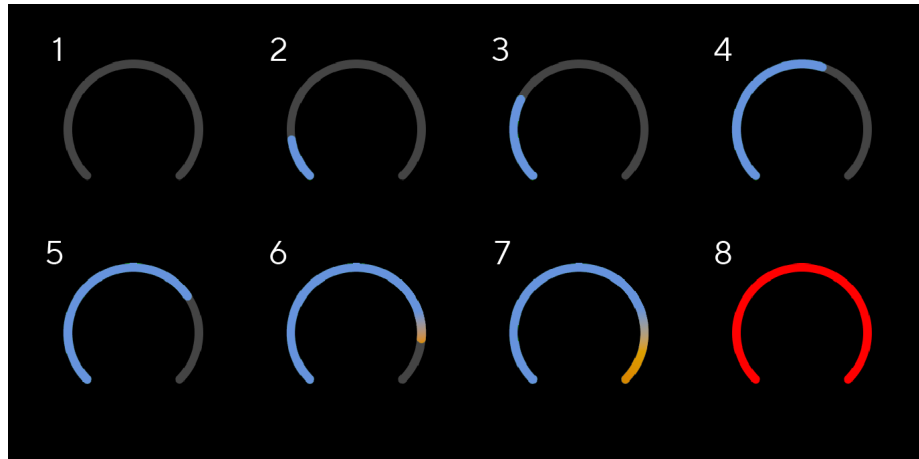
下図は、プリアンプの入力ゲインが最小、中間、最大にされた場合のノブの位置を示しています。



入力メータリング

入力ゲインコントロールを調整してないとき、ゲイン Halo は入力メーターとして機能します。入力信号レベルが大きくなると（入力ゲイン設定が高い場合など）、ゲイン Halo は緑色から橙色に変化します。入力信号レベルがクリップすると、ゲイン Halo 全体が赤く点滅します。

下図は、各入力信号レベルにおけるメーター表示を示しています。



1. 入力信号なし
2. -42 dBFS
3. -36 dBFS
4. -24 dBFS
5. -18 dBFS
6. -12 dBFS
7. -6 dBFS
8. 0 dBFS、クリッピング - 信号の歪みやクリップを避けるため、入力ゲインを下げる必要があります。



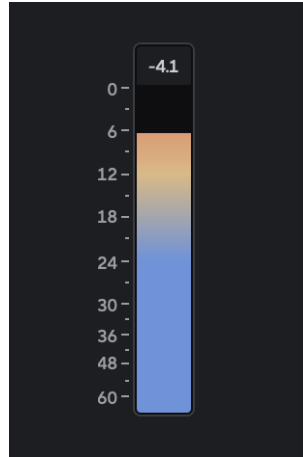
ヒント

信号がクリップすると、メーター上部のクリップ・インジケーターが赤色に点灯します。クリップ・インジケーターが点灯した場合は、該当するチャンネルを選択し、点灯が消えるまでゲインを下げてください。

ソフトウェア・メータリング

入力信号レベルは、Scarlett 2i2 のフロントパネルと同様に Focusrite Control 2 でも確認でき、プリアンプ・ゲインを適切に設定できます。

信号レベルが大きくなると、Focusrite Control 2 のメーターの色が緑色から橙色 (クリップ寸前) に変化します。



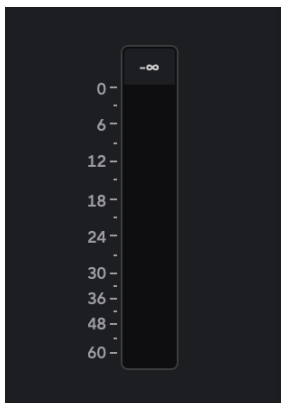
メーター上部のインジケーターは、ピーク・レベル (dBFS) を表示します。ピーク・レベルとは、入力信号のモニタリングを開始してから最大レベルを指します。ピーク・レベル・メーターをマウスでクリックすると、ピーク値をリセットすることができます。



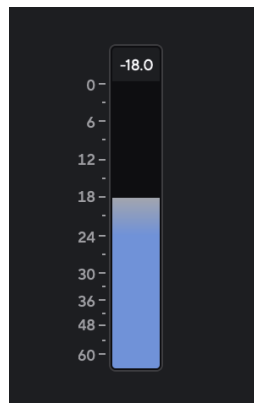
ヒント

録音の際は、ピーク・レベルが -12dBFS になるように心がけてください。これにより、すべてのトラックの録音を終えた際に十分なヘッドルームを確保できます。

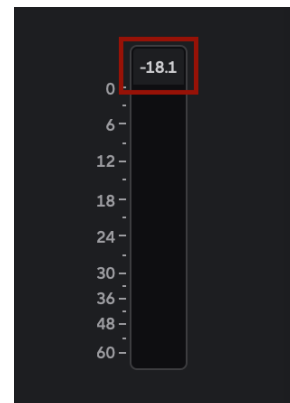
入力信号を待機中



入力信号が -18dB に達した様子



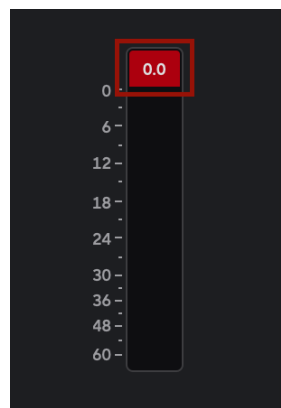
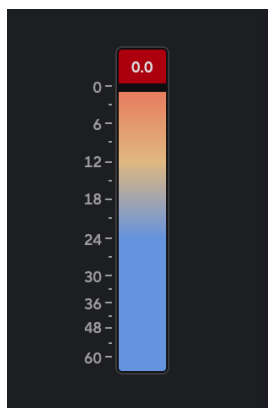
クリックしてピーク・レベル・メーターをリセット。



入力信号やゲイン設定が大きすぎてプリアンプがオーバーロードすると、ピーク・レベル・メーターが赤色に点灯します。ピーク・レベルメーターをマウスでクリックすると、ピーク値をリセットすることができます。

信号がクリップすると、メーター上部のクリップ・インジケーターが赤色に点灯します。その場合は、該当するチャンネルを選択してゲインを減らします。

クリックしてピーク・レベル・メーターをリセット。



Select ボタン

Scarlett 2i2 では、フロント・パネルのコントロールを用いて各プリアンプを設定します。Select ボタンを押すことで、設定するプリアンプが切り替わります。

いずれかのプリアンプが常に選択された状態となり、Select ボタンを押すことで、選択中のプリアンプを切り替えることができます。プリアンプを切り替えると、新たに選択されたプリアンプの番号が緑色に点灯し、各設定の点灯表示が新たなプリアンプの状態に応じて変更されます。

Scarlett 2i2 の電源をオンにすると、前回電源をオフにしたときに選択されていたプリアンプが選択されます。

プリアンプのリンク

プリアンプをリンクすると、1 つのコントロールで 2 つのプリアンプを同時に制御できます。2 つのプリアンプに対して同じゲイン値を設定したり、その他の機能を同時に有効にすることができます。そのため、マイクペア、ステレオシンセサイザー、キーボードなど、ステレオ録音の際に便利な機能です。



重要

プリアンプチャンネルをリンクしてもミキサーチャンネルはリンクされません。ミキサータブでチャンネルをリンクするには、[ミキサーチャンネルのリンク Focusrite Control 2](#)。

プリアンプをリンクするには:

- Select ボタンを 1 秒間押し続けます。

プリアンプがリンクされると:

- 両方のプリアンプ番号が緑色に点灯し、ゲイン Halo がプリアンプ・レベルを一時的に表示します。



- 新たにリンクされたプリアンプのゲインレベルは、最小値に設定されます。
- プリアンプの設定は、リンク設定時に選択されていたプリアンプから引き継がれます (例えばプリアンプ 1 が選択されていた場合、プリアンプ 1 の Air、Safe、Inst 設定がプリアンプ 2 に反映されます)。
- プリアンプの設定を変更すると、両方のプリアンプに変更が反映されます。
- いずれかのゲイン・コントロールを調整すると、両方のプリアンプのゲイン・レベルが変更され、各ゲイン Halo に表示されます。
- 48V は両方のプリアンプで無効になります。

プリアンプのリンクを解除

プリアンプのリンクを解除するには、Select ボタンを 1 秒間長押しします。リンクを解除すると:

- リンクされていた最初のプリアンプが選択され、緑色に点灯します。
- ゲインレベルとプリアンプ設定は同じ設定となり、以後は個別に変更できます。

Focusrite Control 2 でプリアンプをリンクする (近日搭載予定)

プリアンプをリンク

Focusrite Control 2 でプリアンプをリンクするには、チャンネル・ストリップ上部のアイコン 

2 つのプリアンプをリンクすると、リンク・アイコンが緑色 

プリアンプのリンクを解除

Focusrite Control 2 でプリアンプのリンクを解除し、個別のコントロールに復帰させるには、チャンネル・ストリップ上部の緑色のリンク・アイコン 

プリアンプのリンクを解除すると：

- ・リンクされていた最初のプリアンプが選択され、緑色に点灯します。
- ・ゲインレベルとプリアンプ設定は同じ設定となり、以後は個別に変更できます。

48V ボタン (ファンタム電源)

48V (別名ファンタム電源) は、電源を必要とする接続機器に 48V の電圧をインターフェースの XLR コネクタから供給します。主な用途はコンデンサー・マイクですが、48V を必要とするインライン・マイク・プリアンプやアクティブ・ダイナミック・マイク、アクティブ DI ボックスなどにも使用できます。

48V を有効にするには：

1. 電源を供給したいマイクやその他の機器を、XLR ケーブルでインターフェースの XLR 入力に接続します。48V は 6.35mm (1/4 インチ) ジャック入力には供給されません。
2. 不要なポップノイズやクリックノイズを避けるため、プリアンプの入力ゲインを下げます。
3. 48V ボタン (またはソフトウェアの「+48V」ボタン) を押します。

48V アイコンが緑色に点灯し、48V ファンタム電源が有効になったことを示します。

48V ファンタム電源が Scarlett 2i2 の両方の XLR 入力および接続機器に供給されます。

48V (ファンタム電源) をソフトウェアで有効にする

48V (ファンタム電源) を Focusrite Control 2 で有効にするには、+48V ボタンをクリックします。Scarlett 2i2 ハードウェアの 48V ボタンでもファンタム電源を有効にできます。

+48V ファンタム電源オフ



+48V ファンタム電源オン



重要

大半のダイナミック・マイクやリボン・マイクでは、48V ファンタム電源を誤って供給しても問題が生じることはありません。ただし一部の旧型マイクの場合、ファンタム電源を供給することで悪影響を及ぼす可能性があります。お使いのマイクにファンタム電源が必要かどうか不明な場合は、マイクの取扱説明書を確認し、48V ファンタム電源で安全に使用できることをご確認ください。

Inst (インストゥルメント) ボタンおよびライン入力

Inst ボタンを使用すると、Scarlett の 6.35mm (1/4 インチ) ジャック入力のインピーダンスおよび入力レベルがライン・レベル入力からインストゥルメント・レベル入力に最適な設定に変更されます。各モードでの入力インピーダンスの値は、

仕様の章で確認できます。Inst ボタンをオンにせずにエレキギターを接続すると音が籠もりレベルが小さくなります。
[45]

Inst (インストゥルメント) ボタンは、選択チャンネルの 6.35mm (1/4 インチ) ライン入力にのみ有効となります。この機能を有効にすると、ライン・レベル機器に適した入力から、インストゥルメント・レベル機器に適した入力に切り替わります。

Inst ボタンを押すと、6.35mm (1/4 インチ) ジャック入力のインストゥルメント・モードの有効/無効が交互に切り替わります。Inst を有効にすると Inst 表示が緑色に、無効にすると白色に点灯します。Inst を有効にして入力ジャックにケーブルを接続すると、入力ゲインの最小値が +7dB に変更されます。



注記

Inst 表示が白く点灯している場合は、6.35mm ジャック入力はライン・レベルに最適化されていることを示します。

Inst を有効 (緑色に点灯) にすると、1/4 インチ入力にはインストゥルメント・レベル機器を接続できます。以下は接続可能な機器の一例です。

- ・ エレクトリックギターおよびエレクトリックアコースティックギター (直接またはエフェクトペダル経由で接続)
- ・ エレクトリックベース
- ・ ピックアップを備えるアコースティック楽器 (バイオリンやコントラバスなど)

Inst を無効 (白色に点灯) にすると、6.35mm (1/4 インチ) 入力にライン・レベル機器を接続できます。以下は接続可能な機器の一例です。

- ・ シンセサイザー
- ・ キーボード
- ・ ドラムマシン
- ・ 外部マイクプリアンプ



注記

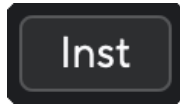
XLR および 6.35mm (1/4 インチ) ジャック入力 1/2 は、Scarlett 2i2 のリア・パネルの対応するマイク/ライン入力よりも優先されます。

リア・パネルの入力 1/2 からの入力信号が検出されない場合は、フロント・パネルの入力 1/2 にケーブルが接続されていないかをご確認ください。

入力 1 または 2 で 48V を有効にし、6.35mm (1/4 インチ) ジャックをフロントパネルのライン・レベルまたは楽器入力に接続すると、対応するマイク入力の 48V が自動的に無効になります。

インストゥルメント/ライン入力をソフトウェアで切り替える

Focusrite Control 2 でインストゥルメント入力およびライン入力を切り替えるには、**Inst** ボタンをクリックします。



ライン



インストゥルメント



注記

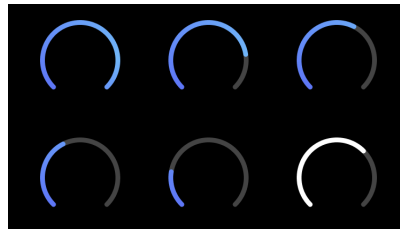
Inst とラインを切り替える際、ゲイン値は最後に設定されていた値に変更されます。

Inst とラインを切り替える際、ゲイン値は最後に設定されていた値に変更されます。

オートゲインを開始し、Scarlett 2i2 へ信号を 10 秒間入力（マイクに向かって話す、または楽器を演奏）すると、プリアンプの入力ゲインが最適なレベルに自動的に設定されます。オートゲイン設定後、ゲインノブを用いてゲイン値を手動で微調整することもできます。

オートゲインを使用するには：

1. **Select** ボタンでオートゲインを設定したいプリアンプを選択します。
2. 本体の **Auto** ボタン、またはソフトウェアの **Auto Gain** ボタンを押します。
Auto アイコンが 10 秒間緑色に点灯します。ゲイン Halo が 10 秒間のカウントダウン・タイマーとして点灯を開始します。



3. オートゲインのカウントダウンが終了するまでマイクに向かって話す（または歌う）か、楽器を演奏します。このとき本番のレコーディングと同じ音量で演奏する（歌う）ことで、適切なレベルを設定できます。

カウントダウンが完了すると、ゲイン Halo が 1 秒間緑色に点灯した後、設定されたゲイン値が表示されます。以上でレコーディングに適切なレベルのゲイン設定が完了となります。

オートゲインの処理が失敗すると、ゲイン Halo は赤く点灯します。詳細は、「[ゲイン Halo が赤く点灯した場合](#)」をご参照ください。[21] [21]



注記

Scarlett のオートゲイン機能では、入力信号レベルの他に以下の要素も考慮に入れてレベルが設定されます。

- ・プリアンプのノイズフロア
- ・デジタルサイレンス
- ・チャンネル間クロストーク
- ・意図しない振動や接触などによるノイズ

オートゲインをソフトウェアから実行する

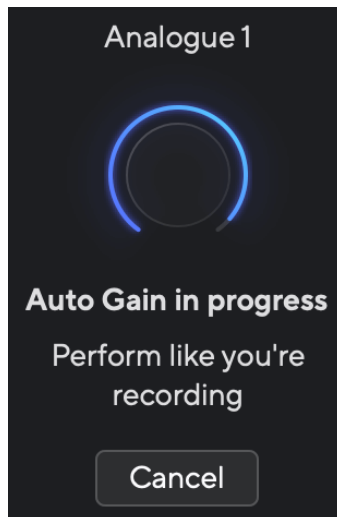
Focusrite Control 2 でオートゲインを使用するには：

1. Focusrite Control 2 の Auto Gain ボタンをクリックします。

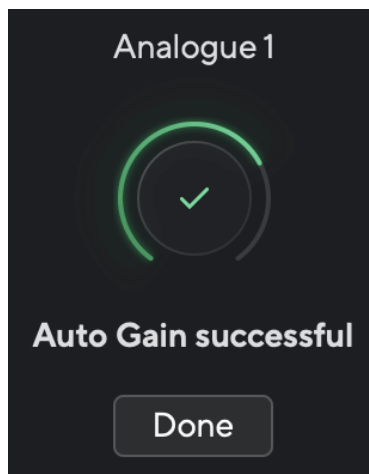


2. オートゲインのカウントダウンが終了するまでマイクに向かって話す（または歌う）か、楽器を演奏します。このとき本番のレコーディングと同じ音量で演奏する（歌う）ことで、適切なレベルを設定できます。

オートゲイン処理が開始され、ソフトウェア上のゲイン Halo がカウントダウンを始めます。



カウントダウンが完了すると、ゲイン Halo が 1 秒間緑色に点灯した後、設定されたゲイン値が表示されます。以上でレコーディングに適切なレベルのゲイン設定が完了となります。

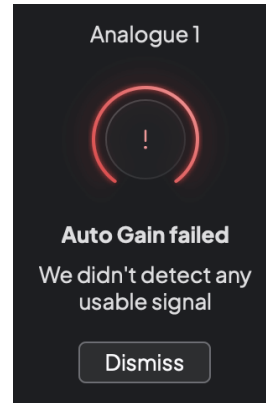


オートゲインの処理が失敗し、ゲイン Halo は赤く点灯した場合

入力信号がオートゲインに不適切（信号が入力されない等）だった場合は、10 秒後にオートゲイン処理が停止し、ゲイン Halo が 1 秒間赤く点灯します。この場合、ゲイン値はオートゲイン開始前の値に復帰します。

本体のゲイン Halo

Focusrite Control 2 オートゲイン失敗



オートゲインを再び開始する前に、入力機器が適切に接続されていること、オートゲイン実行中に入力信号が出力されていることをご確認ください。またコンデンサーマイクを使用する場合は、48V が有効となっていることをご確認ください。



注記

オートゲイン実行中に Auto Gain ボタンを再度押すと、いつでも処理を中止できます。この場合、ゲイン値はオートゲイン開始前の値に復帰します。

マルチチャンネル・オートゲイン

オートゲインを開始し、Scarlett 2i2 へ信号を 10 秒間入力（マイクに向かって話す、または楽器を演奏）すると、プリアンプの入力ゲインが最適なレベルに自動的に設定されます。オートゲイン設定後、ゲインノブを用いてゲイン値を手動で微調整することもできます。

マルチチャンネル・オートゲイン機能では、インターフェースのすべてのプリアンプ・チャンネルでオートゲイン処理が実行されます。複数チャンネルを同時に録音する場合に、入力レベルを素早く設定できる便利な機能であり、以下のような場面で活用できます。

- ・ギターを演奏しながら同時にボーカルも録音する場合
- ・複数のマイクでドラムキットを録音する場合
- ・バンドの同時録音

マルチチャンネル・オートゲインを開始するには：

1. **Auto ボタンを 2 秒間長押しします。**
Auto アイコンが 10 秒間、緑色にゆっくりと点滅し、すべてのチャンネルのゲイン Halo が 10 秒間カウントダウンを開始します。
2. オートゲインのカウントダウンが終了するまでマイクに向かって話す（または歌う）か、楽器を演奏します。このとき本番のレコーディングと同じ音量で演奏する（歌う）ことで、適切なレベルを設定できます。

オートゲインのカウントダウンが完了すると、ゲイン Halo が 1 秒間緑色に点灯した後、設定されたゲイン値が表示されます。以上でレコーディングに適切なレベルのゲイン設定が完了となります。



注記

オートゲイン実行中に Auto Gain ボタンを再度押すと、いつでも処理を中止できます。この場合、ゲイン値はオートゲイン開始前の値に復帰します。

Focusrite Control 2 でマルチチャンネル・オートゲインを実行する

マルチチャンネル・オートゲインは、Focusrite Control 2 から実行できます。手順は以下の通りです。

1. Focusrite Control 2 を開き、インプット・タブを開きます。

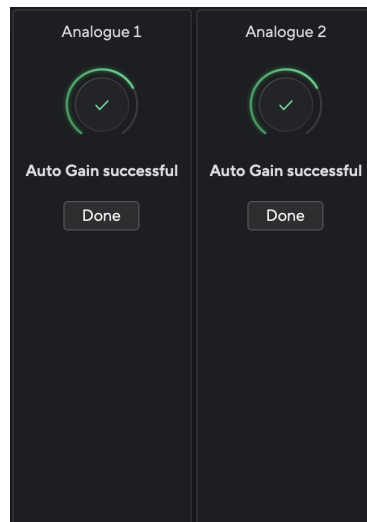


2. Auto Gain ボタンの右にある矢印アイコンをクリックしてドロップダウン・メニューを開きます。



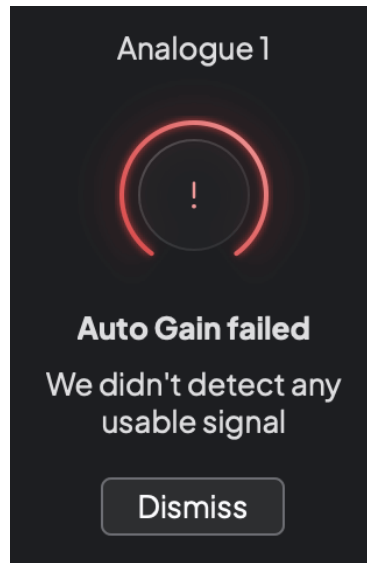
3. 「Auto Gain both」

オートゲイン処理が完了すると、実行したチャンネルと新たに変更されたゲイン・レベルが Focusrite Control 2 に表示されます。



マルチチャンネル・オートゲインのエラー表示

マルチチャンネル・オートゲインの処理は、対象チャンネルまたはすべてのチャンネルの処理中に失敗する可能性があります。



その場合は、以下のいずれかの方法で解決できます。

- Retry をクリックして選択した **すべてのチャンネルに対してオートゲインを再実行します。この場合は、オートゲインが成功したチャンネルにも再度処理が実行されます。**
- Close をクリックし、失敗したチャンネルに対してオートゲインを改めて実行します。
- Close をクリックし、オートゲインが失敗したチャンネルのゲインを手動で調整します。

クリップセーフボタン

Safe ボタンを押すとクリップセーフ機能が有効になり、入力信号のクリッピングが生じる恐れのある場合に、プリアンプの入力ゲインが自動的に調整されます。

クリッピングは、プリアンプのオーバーロードにより発生する現象で、入力信号に対してゲイン設定が高すぎると発生しやすくなります。プリアンプの歪みであるクリッピングは不快なサウンドになることが多く、録音テイクを台無しにする可能性があります。クリップセーフはこれを回避するのに役立つ機能であり、入力信号レベルが高くなりクリッピングの恐れが生じると、プリアンプのゲインが自動的に制御されます。そのため、クリップセーフを使うことでテイクの録り直しを防ぐことができます。



注記

クリップセーフ機能は、96kHz までのサンプルレートでのみ使用できます。クワッドバンド (サンプルレート 176.4kHz および 192kHz) では使用できません。この場合には Safe LED が赤く点灯し、使用できないことを示します。

クリップセーフを有効にするには：

1. **Select** ボタンでオートゲインを設定したいプリアンプを選択します。
2. **Safe** ボタンを押すか、ソフトウェアの **Safe** ボタンをクリックします。

クリップセーフを有効にすると、**Safe アイコンが緑色に点灯します**。クリップセーフ・アイコンは、クリップセーフ・モードが無効かつ使用可能である場合に、白く点灯します。

プリアンプのリンク機能を使用して 2 つの入力を選択中は、**Safe がいずれのプリアンプにも適用されません**。



ヒント

クリップセーフを有効にすると、Scarlett が入力信号を毎秒最大 96000 回のペースで監視します。アナログプリアンプのコントロールと DSP を併用することで、クリッピングのリスクが大幅に抑えられます。

Focusrite Control 2 でクリップセーフを使用する

Focusrite Control 2 でクリップセーフ機能を有効にするには、Safe ボタンをクリックします。

クリップセーフオフ



クリップセーフオン



Air モード

Air モードを有効にすると、Scarlett のプリアンプを異なるキャラクターを持つ 2 つのモードで使用できます (Air Presence、Air Presence & Harmonic Drive)。

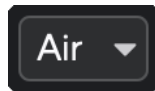
Air モードは、マイク、ライン、インストゥルメント入力に適用されます。

Air モードを有効にするには目的の入力を選択し、Air ボタンを押します。ボタンを 1 回押すと Air Presence モード、2 回押すと Air Presence & Harmonic Drive モードとなり、再度ボタンを押すと Air モードが無効になります。選択中もモードに応じて Air LED の色が変わります。

モード	説明	メモ
Off	クリーンなプリアンプ	
Air Presence	アナログ回路によりソース信号のプレゼンスが強調されます。	
Air Presence & Harmonic Drive	アナログ Air 回路に加え、ソース信号に倍音成分が付与されます。	96kHz までのサンプルレートでのみ使用可能です。

Air モードをソフトウェアから使用する

Air モードを Focusrite Control 2 で有効にするには、Air ボタンをクリックします。Scarlett 2i2 本体の Air ボタンで Air モードを有効にする操作と同様です。



Air モードオフ

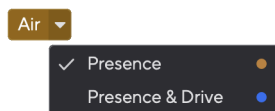


Air Presence が選択中

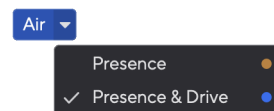


Air Presence & Drive が選択中

Focusrite Control 2 の Air ボタンをクリックすると、前回選択されていた Air モードが有効になります。Air モードを変更するには、矢印アイコンをクリックして表示されるポップアップメニューから目的のモード (Presence または Presence & Drive) を選択します。



Air Presence が選択中



Air Presence & Drive が選択中



注記

Air Presence & Drive モードは、96kHz までのサンプルレートでのみ使用できます。クワッドバンド (サンプルレート 176.4kHz および 192kHz) では使用できません。

Output ノブおよびレベルメーター

Output ノブおよび出力レベルメーターは、Scarlett 2i2 のリアパネルにある Outputs 1 および 2 からの信号レベルを調整/監視します。この出力部は多くの場合、モニター・スピーカーに接続されます。



Output ノブでは、出力レベルをゼロ (左回り一杯) からフルスケール (右回り一杯) の範囲で変更できます。

Output ノブの周囲にあるレベルメーターは、ノブの位置に関係なくコンピュータからの信号レベルを表示するプリフェーダー仕様のメーターです。



注記

Output ノブが左一杯の位置にあるにも関わらずスピーカーから音が聴こえる場合は、モニターレベルを調整することでこれを解決できます：

1. インターフェースの Output ノブおよびスピーカーのレベルを下げます。
2. 次に Output ノブを最大値 (または最大値より若干低い値) に設定します。
3. システムでサウンドを再生します。
4. スピーカーのレベル・コントロールを、必要となる最大レベルまで上げます。

この状態で Output ノブを最小値にすると、音が聴こえなくなります。上記の設定を行うことで、Output ノブの全範囲を使用してレベル調整が行えるようになるため、より繊細なレベル調整が可能になります。さらに、最大値を少し下回るノブの位置でスピーカーレベルを調整することで、必要に応じてボリュームを更に上げたり、通常よりも大きなレベルでモニターすることが可能になります。

ダイレクトモニターボタン

ダイレクトモニター^{Direct} ㊟ 機能を使用すると、インターフェースへの入力信号をコンピュータを経由せずに直接聴くことができるため、不要なレイテンシーやエフェクトが適用される前の入力信号をモニターできます。

ダイレクトモニタリングは、主に以下の場面で使用されます：

1. 発音タイミングからソフトウェア経由でインターフェースから音出力されるまでにレイテンシーまたは遅延を感じる場合 – ソフトウェアの入力をミュートし、ダイレクトモニターを有効にすることで、レイテンシーは無くなります。
2. ソフトウェアから出力されるプラグインを通したエフェクト音ではなく、Scarlett へ入力された直後のクリーンな入力信号をモニターしたい場合。

ダイレクトモニターがオフのとき、^{Direct} ㊟ アイコンは白く点灯します。Scarlett 2i2 では、モノラルとステレオの 2 種類のダイレクトモニター設定を選択できます。設定方法は以下の通りです：

- ^{Direct} ㊟ ボタンを 1 回押すと、**モノラルダイレクトモニタリング**が有効になります。入力 1 と入力 2 の信号がいずれもステレオイメージのセンターに出力されます。この設定はギターやボーカルなど、2 系統のモノラル信号を録音する場合に便利です。



- ^{Direct} ㊟ ボタンを 2 回押すと、**ステレオダイレクトモニタリング**が有効になります。入力 1 が左、入力 2 が右にパンニングされて出力されます。この設定はステレオペアマイクやシンセサイザー、キーボードなどのステレオ機器を録音する場合に便利です。



注記

信号が 2 回聴こえたり、ダブリングや僅かな位相ずれが発生する場合は、ダイレクトモニターがオンになっていると同時にソフトウェアからの信号が出力されている可能性があります。その場合は、以下のいずれかの方法で解決できます。

- DAW ソフトウェアで録音トラックをミュートします。
- ダイレクトモニターをオフにして、DAW ソフトウェアからの信号のみを出力させます。

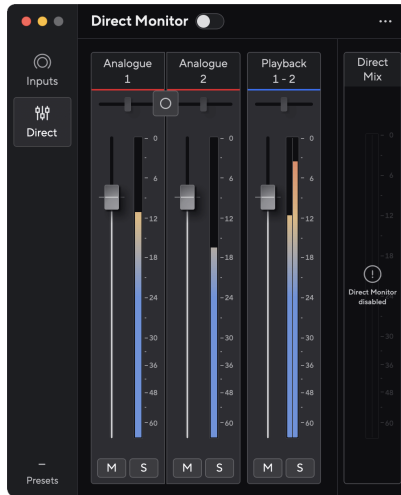
<https://www.youtube.com/embed/FrdQtKePij4>

モニターの直接調整

から Focusrite Control 2 ダイレクト モニター ミックスを有効にして調整して、入力とソフトウェアの再生チャンネルのバランスをとることができます。

ダイレクトモニターを有効にするには、Focusrite Control 2 タブの上部にあるダイレクトモニターソフトウェアスイッチをクリックします。スイッチが緑色に点灯し、ダイレクトが緑色に点灯します。

Scarlett 2i2 のフロントパネル。



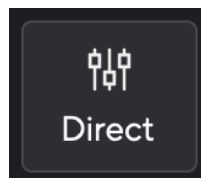
ダイレクトモニターオフ



ダイレクトモニターオン

ダイレクト・モニター・ミックスを調整するには:

1. 開ける Focusrite Control 2。
2. 「ダイレクト」タブをクリックします。

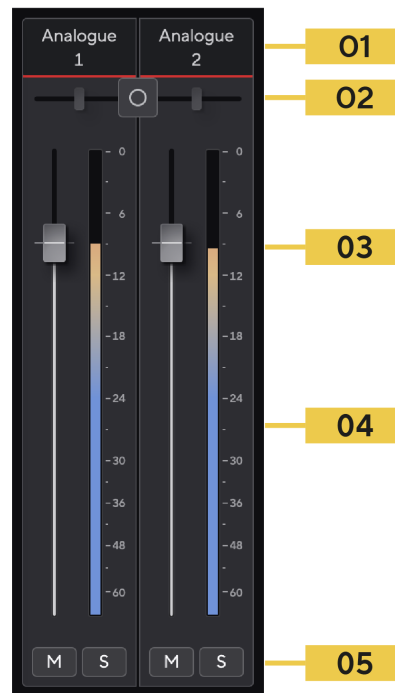


3. ミキサーチャンネル(フェーダー、ミュート、ソロ ボタン)を使用して、アナログ 1、アナログ 2、および再生 1-2 のレベルを調整します。

最終メーター下 **ダイレクトモニター** は、モニター出力とヘッドフォン出力に送られる結合レベルを示しています。

ミキサーチャンネルの使用

各ミキサーチャンネルでは、様々な設定が行えます。



1. **ミックス・チャンネル名**
ミキサー入力名が表示されます。
2. **ステレオ/モノラルスイッチそしてパン**
チャンネル間のダイレクト・モニター・モード・ボタンは、ダイレクト・モニター・モードをモノラル間で変更します。 そしてステレオ 。
両側のパンインジケーターは、ダイレクトモニターミックス内でそのチャンネルがパンされている場所を示します。パンは編集できず、選択したダイレクトモニターに応じて、中央(モノラル)左端と右端(ステレオ)の2つの状態があります。
3. **フェーダー**
フェーダーは、ミックス先へのレベルを調整します。Altキー、オプション/⌘キー、またはダブルクリックしてリセットします。
フェーダーは、録音されるソースの信号レベルには影響しません。
4. **メーター**
チャンネルレベルを dBFS 単位で表示します。緑色はレベルが良好、橙色はレベルが非常に高いことを示します。
ステレオチャンネルでは2つのメーターが表示され、左右チャンネルのレベルを確認できます。メーターは、ポストフェーダーのレベルを表示します。つまりフェーダーの値がメーター表示に影響します。
5. **ミュートおよびソロ**
ミュート - ミュート・ボタン **M**
ソロ - ソロ・ボタン
ミュートとソロを同時に有効にすると、最後にクリックされたボタンが優先的に有効になります。

ヘッドフォン出力



ヘッドフォン出力部は 6.35mm (1/4 インチ) TRS ジャック用となっています。多くのヘッドフォンの端子は 3.5mm TRS ジャックとなっていますが、これらのヘッドフォンを Scarlett 2i2 に接続するには、TRS 6.35mm - 3.5mm 変換アダプターを使用してください。

ヘッドフォン出力レベルはヘッドフォン出力コネクタ上部のノブで調整できます。

一部の高インピーダンスヘッドフォンを Scarlett 2i2 で使用すると、ヘッドフォンボリュームが十分にならない場合があります。そのため、インピーダンス 300Ω 以下のヘッドフォンの使用をお勧めします。



注記

一部のヘッドフォンおよびジャックアダプターの中には、TS または TRRS コネクタを備えているものがあります (マイクやボリュームコントロールがケーブルに組み込まれている製品など)。これらのヘッドフォンは Scarlett で正常に使用できない可能性があるため、問題が発生した場合は TRS 仕様のヘッドフォンおよびジャックアダプターを使用してください。

<https://www.youtube.com/embed/GycUxWKbiV4>

リアパネルの各機能

本章では、Scarlett 2i2 のリア・パネルのすべての機能を紹介し、Focusrite Control 2 での操作方法についても解説します。

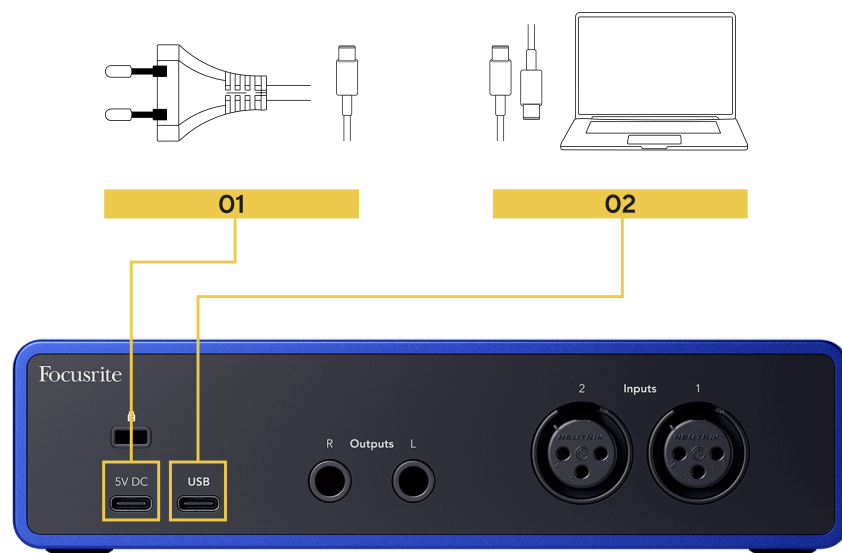
USB 接続

5V DC ポート

ほとんどのコンピュータでは、こちらの **5V DC** ポートは不要となります。USB ポートが 900mA の出力に対応していない一部のコンピュータを使用する場合は、**5V DC** ポートに USB 電源アダプターを接続することで、Scarlett を駆動できます。

Scarlett 2i2 は多くの電力を消費します。コンピュータによっては大音量でヘッドフォンを再生する場合などの電力消費が高くなる状況で USB ポートから十分な電力を供給できず、Scarlett 2i2 の接続が切断されたり、USB アイコン  が赤く点滅する場合があります。

これらの症状が発生した場合は、**5V DC** ポートに USB 電源アダプターを接続し、Scarlett に電源を供給してください。



USB ポート

USB と記載されている USB タイプ C ポートは、Scarlett とコンピュータを接続するために使用します。

コンピュータと接続することで、USB 電源供給、双方向オーディオ伝送、Focusrite Control 2 への接続が確立されます。

**USB アイコンが赤く点滅する場合**

USB アイコンが赤く点滅する場合は、Scarlett 2i2 に十分な電源が供給されていないことを意味します。

この問題を解決するには：

- Scarlett 付属の USB ケーブルを使用していることを確認します。
- コンピュータの別の USB ポートに USB ケーブルを接続し直します。また USB ハブを使用せずコンピュータと Scarlett を直接接続します。
- 必要に応じて Scarlett 2i2 リアパネルの **5V DC** ポートを使用します。USB 電源アダプターからの USB ケーブルをこのポートに接続します。オーディオ再生中に電源アダプターを接続しないようご注意ください。

スピーカー出力

Outputs 1 および 2 は、Scarlett 2i2 をアンプやアクティブ・モニターに接続するためのライン・レベル出力です。バランス 1/4 インチ TRS ジャックを備え、アンバランス TS またはバランス TRS ケーブルを使用して、1/4 インチジャック、RCA または XLR 入力を搭載するスピーカーに接続できます。

Scarlett 2i2 のフロントパネルにある **Output ノブ**にて、**Outputs 1 および 2 に送られる信号レベルを調整**できます。

**注記**

6.35mm TS ジャック、または RCA 変換ケーブルを用いたアンバランス接続も可能です。しかしながら、アンバランス接続は、ノイズの原因となる干渉を受ける場合があるため、Focusrite はこれらの接続を推奨しません。

信号を再生していない状態でクラックルなどのノイズがスピーカーから定期的に聴こえる場合は、スピーカーとの接続がバランス接続であるかをご確認ください。

マイク入力

3 ピン XLR 入力コネクタは、マイク・レベル信号に対応します。

マイク入力レベルは、フロントパネルの対応する入力ゲインノブで調整できます。コンデンサーマイクを使用する場合は、48V ファンタム電源も利用できます。ファンタム電源は、フロントパネルの 48V ボタンで有効にできます。

**ヒント**

Scarlett 2i2 は、リアパネルにマイク用 XLR 入力、フロントパネルにはインストゥルメントおよびライン・レベル機器用 6.35mm (1/4 インチ) ジャック入力を備えます。

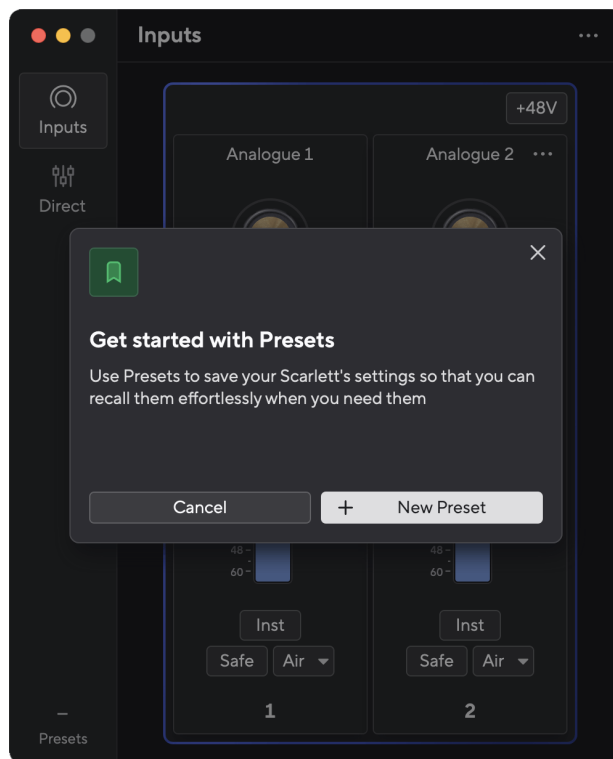
フロントパネルの入力ジャックにケーブルを接続すると、リアパネルの XLR マイク入力が無効になります。XLR 入力にマイクを接続しても音が出ない場合は、フロントパネルの入力ジャックにケーブルが接続されていないことをご確認ください。

Focusrite Control 2 を Scarlett 2i2 で使用する

Focusrite Control 2 は、インターフェースを管理するためのソフトウェアです。ルーティング、モニタリング、ミキサーなど様々な設定が行えるほか、ファームウェア・アップデートなども実行できます。

プリセットの使用 Focusrite Control 2

プリセットを使用すると、Scarlett の設定をすばやく復元できます。特定のセッションやセットアップに合わせて設定を変更し、名前付きプリセットとして保存できます。次回これらの設定を呼び出す必要がある場合は、プリセットをロードできます。



プリセットには、以下の設定が含まれます：

- ・ 各チャンネルの入力設定：
 - ・ チャンネル名
 - ・ Input Gain
 - ・ +48V
 - ・ Inst
 - ・ セーフモード
 - ・ Air モード
 - ・ チャンネル・リンク
- ・ ミキサー設定
 - ・ ミックスの接続先 (→)
 - ・ パンおよびバランス
 - ・ フェーダー・レベル
 - ・ ミュートおよびソロのステータス
 - ・ ミキサーチャンネルのリンク。
- ・ 機器設定
 - ・ 「Send Direct Monitor mix to Loopback」設定



注記

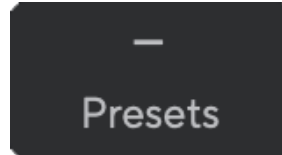
Focusrite Control 2 のプリセットは、保存時に使用しているコンピュータに保存されます。保存したプリセットは、別のコンピュータやスタンドアローン・モードで 사용할 こともできます。

プリセットの保存

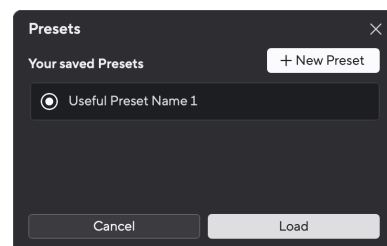
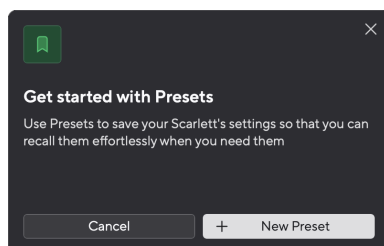
Focusrite Control 2 でプリセットを使用するには、まず設定を変更します。設定の変更が完了し、後日再び利用したい設定がある場合は、プリセットを保存します。プリセットの保存には、新しいプリセットを保存するか、既存のプリセットを上書きするかの 2 つの方法があります。

新しいプリセットの保存

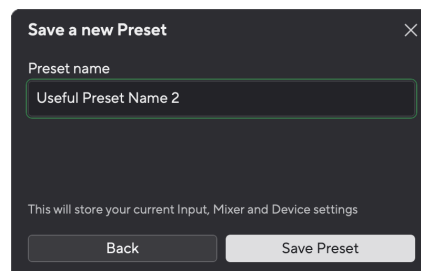
1. の設定を Focusrite Control 2 で調整します。
2. Focusrite Control 2 ウィンドウ左下のプリセット・ボタンをクリックします。



3. 「新しいプリセット」ボタンをクリックします。

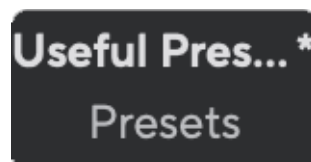


4. 「Preset 名」フィールドにプリセットの名前を入力します。あとで探しやすい名前を付けることをお勧めします。



5. 「Preset を保存する」をクリックします。

プリセットを保存すると、プリセットの名前が Focusrite Control 2 の左下に表示されます。そのプリセット内で設定を変更すると、プリセット名にアスタリスク * が表示され、設定が変更された事を示します。

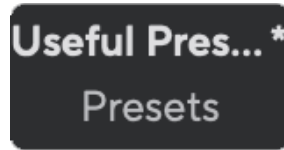


プリセット名にアスタリスク * が表示されている場合は、プリセットの設定のいずれかが変更されたことを示します。上述の手順を使用して新しいプリセットを作成するか、変更されたプリセットを上書きすることができます。

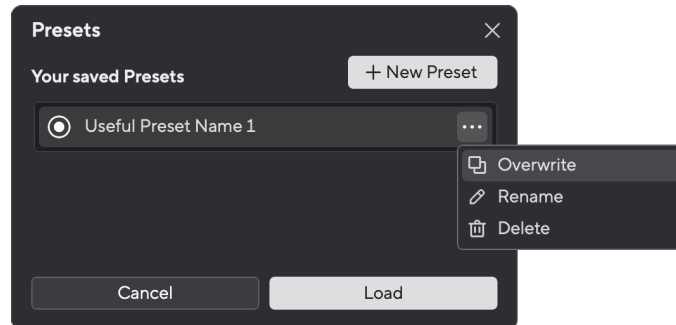
プリセットを上書きする

1. 既存のプリセットから設定を変更すると、プリセット名の横にアスタリスク * が表示されます。

2. Focusrite Control 2 ウィンドウ左下のプリセット・ボタンをクリックします。



3. 既存のプリセットにマウスを合わせ、プリセット名の右にある 3 つのドット 
4. 「上書き」をクリックします。



5. 表示されるポップアップを確認し「上書き」ボタンをクリックすると、既存のプリセットが上書きされます。



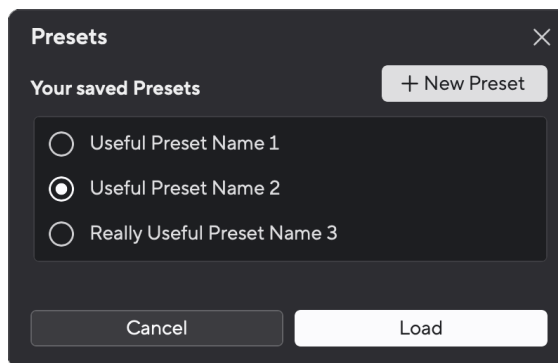
注意

プリセットを上書きすると、保存されていたプリセットの設定が現在の設定に置き換えられます。この操作は取り消しできません。

プリセットの読み込み

プリセットを読み込むと、一連の設定を以前保存した状態に復元することができます。

1. Focusrite Control 2 ウィンドウ左下のプリセット・ボタンをクリックします。
2. 読み込みたいプリセットをクリックします。



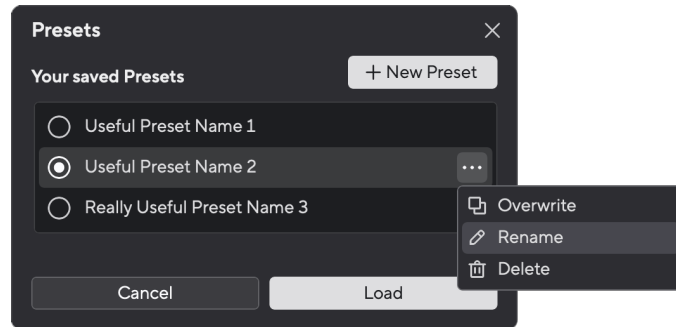
3. 「読み込む」ボタンをクリックします。

プリセット名の変更

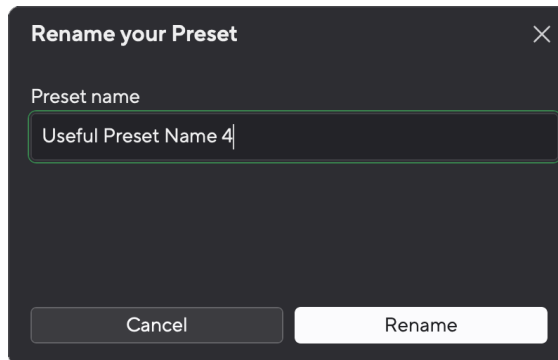
保存された設定を変更せずにプリセット名を変更できる機能です。

1. Focusrite Control 2 ウィンドウ左下のプリセット・ボタンをクリックします。
2. 既存のプリセットにマウスを合わせ、プリセット名の右にある 3 つのドット 

3. 「名前を変更する」をクリックします。



4. 新しいプリセット名を Preset 名フィールドに入力します。



5. 「名前を変更する」を選択します。

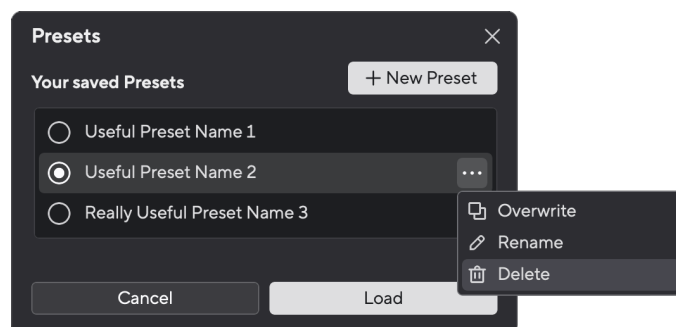
プリセットの削除



注意

Focusrite Control 2 で削除したプリセットを復元することはできず、削除の操作をアンドウすることもできません。プリセットを削除しても、インターフェイスの設定は変更されません。

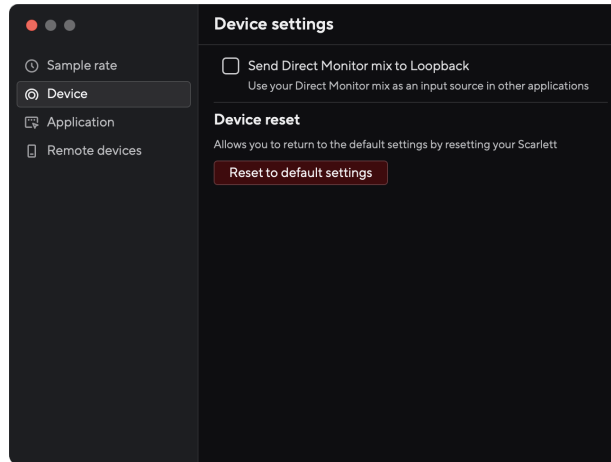
1. Focusrite Control 2 ウィンドウ左下のプリセット・ボタンをクリックします。
2. 既存のプリセットにマウスを合わせ、プリセット名の右にある 3 つのドット 
3. 「削除」をクリックします。



4. 表示されるポップアップを確認し「削除」ボタンをクリックすると、既存のプリセットが削除されます。

Focusrite Control 2 初期設定

Focusrite Control 2 ウィンドウ右上のリーダー・アイコン 



初期設定ページでは、以下のタブで各設定が分類されています。

- Sample rate
- デバイス
- アプリケーション
- リモートデバイス

Sample rate & clocking タブ

サンプルレート (kHz)

サンプルレートとは、コンピュータが 1 秒間に録音を行うサンプル数のことです。サンプルレートが高いほど高音質になりますが、それに伴い録音データのサイズが大きくなり、より多くのハードディスク容量が必要となります。



注記

以下の機能は、クワッドバンド (サンプルレート 176.4kHz および 192kHz) では使用できません。

- Air Presence & Drive (Air Presence は利用可能)
- Clip Safe

デバイス・タブ

48V 設定を覚えておく

チェックボックスをオンにすると、Scarlett 2i2 デバイスの電源をオフにしてオンにした後も 48V の状態を記憶します。

デバイスのリセット

デバイスのリセットを実行すると、Scarlett を工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。リセットを実行することで、現在の入力、ミキサー、およびサンプルレートの設定がすべて消去されます。

デバイスをリセットするには：

1. 「デフォルト設定にリセット」ボタンをクリックします。

2. 確認を促すポップアップが表示されます。
3. 「リセット」をクリックします。



注記

デバイスのリセット機能は、プリセットを削除しません。初期設定にリセット後も保存済みのプリセットから以前の設定を復元することができます。

アプリケーション・タブ

使用状況に関する情報を Focusrite と共有する

このチェックボックスを有効にして、使用状況データの共有に同意していただくことが Focusrite Control 2 の改善に役立ちます。詳細は、[個人情報保護方針](#) をご参照ください。

リモートデバイス - Focusrite Control 2 モバイル・アプリのインストール

Focusrite は Focusrite Control 2 のリリースに合わせて、Focusrite Control 2 モバイル・アプリも公開しています。

モバイル・アプリを使用すると、同じ Wi-Fi ネットワークに接続されているモバイル機器から、コンピューターで実行中の Focusrite Control 2 をコントロールしたり、設定を確認することができます。

リモートデバイス・タブでは、以前に Focusrite Control 2 に接続したスマートフォンやタブレットを管理できます。

Focusrite Control 2 アプリは Android および iOS に対応し、Google Play Store または Apple App Store からダウンロードできます。以下のリンクまたは QR コードからストア・ページにアクセス可能です。

fc2.focusrite.com/mobile/download



注記

Focusrite Control 2 モバイル・アプリは、コンピューターで起動している Focusrite Control 2 をコントロールします。

アプリから Scarlett を直接コントロールすることはできません。

Focusrite Control 2 および Scarlett 2i2 のアップデート

Focusrite Control 2 のアップデート

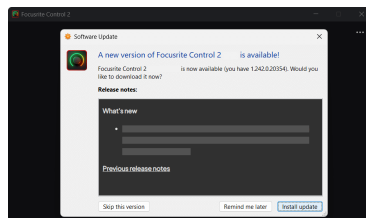
Focusrite では、ユーザーの皆さまが Focusrite Control 2 を最大限に活用いただけるよう、新機能の追加や改善を施す Scarlett 2i2 のアップデートを臨時提供しています。

以下の 2 つの方法で、Focusrite Control 2 が最新バージョンであることを確認できます：

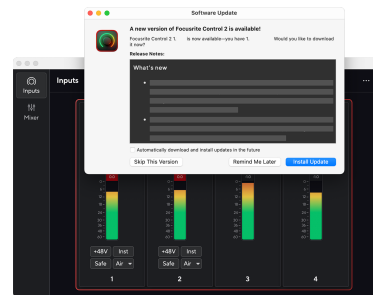
1. Focusrite Control 2 内でアップデーターを使用：

1. Focusrite Control 2 を起動します。
2. Focusrite Control 2 では、2 通りの方法でアップデートが可能です。
 - a. アップデートが検出されると、ダイアログ・ウィンドウが自動的に表示されます。Install Update をクリックすると、アップデートが開始されます。

Windows



macOS



- b. 最新バージョンであるかを確認するには、Focusrite Control 2 アプリケーション・ウィンドウ右上のリーダーアイコン 

3. アップデーターのダウンロードが完了すると表示されるポップアップ・ウィンドウで Install Update (Windows) または Install and Relaunch (macOS) をクリックします。macOS では、Focusrite Control 2 が再起動した時点で最新バージョンへのアップデートが完了しています。Windows の場合は次のステップに進んで下さい。
 4. 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。
 5. Focusrite Control 2 のインストーラー画面の指示に従いインストールを進めます。
 6. 「完了」をクリックし、インストールを終了します。これで更新は完了です。Focusrite Control 2 が再び起動し、最新バージョンをお使いいただけます。
2. Focusrite のダウンロードページから Focusrite Control 2 をダウンロードします：

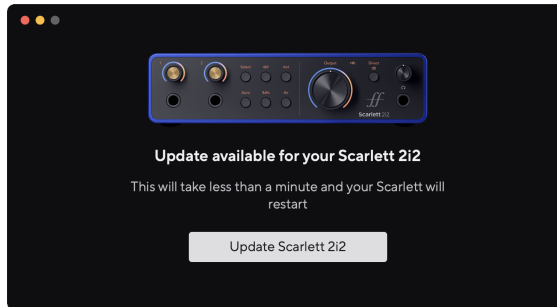
1. Focusrite のダウンロードページにアクセスします。
[focusrite.com/downloads](https://downloads.focusrite.com/focusrite) <https://downloads.focusrite.com/focusrite>
2. お使いの Scarlett を選択します。
3. お使いのオペレーティング・システム (Windows または Mac) を選択し、Focusrite Control 2 をダウンロードします。
4. コンピュータのダウンロード・フォルダーを開き、Focusrite Control 2 インストーラーをダブルクリックします。
5. 画面の指示に従って Focusrite Control 2 をインストールします。
6. まだ接続していない場合は、Scarlett インターフェースを USB ケーブルでコンピューターに接続します。
7. Focusrite Control 2 を起動すると、が自動的に認識されます。

Scarlett 2i2 のアップデート

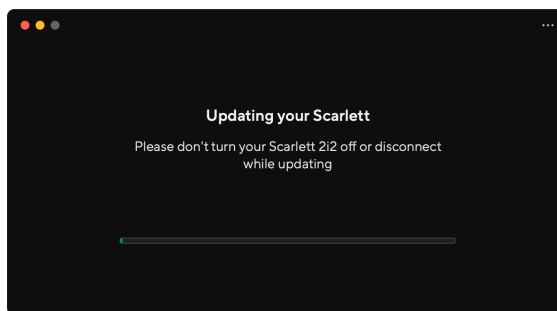
Focusrite は、お客様が Scarlett 2i2 を最大限に活用いただけるよう、新機能の追加や改善を施す Scarlett のアップデートを臨時提供しています。Scarlett 2i2 のファームウェアは、Focusrite Control 2 からアップデート可能です。

Scarlett をアップデートするには：

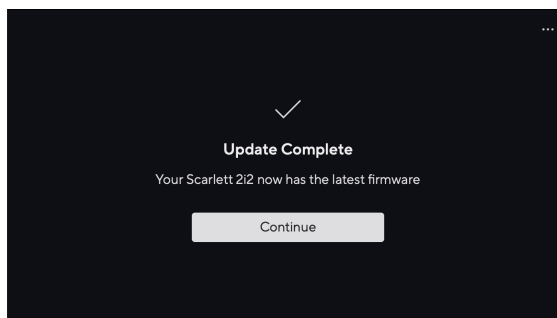
1. Focusrite Control 2 を起動します。
アップデートが利用可能な場合は、起動時にメッセージが表示されます。



2. Update Scarlett 2i2 をクリックします。
Focusrite Control 2 がアップデートを開始します。アップデート中は Scarlett 2i2 の接続を取り外さないでください。



3. アップデート完了後、Continue をクリックします。



以上で Scarlett 2i2 は最新版にアップデートされ、通常通りご使用いただけます。

Scarlett 2i2 製品仕様

以下の仕様は、お使いの機器が Scarlett 2i2 で使用できるか確認するための参考情報となります。通常 Scarlett 2i2 は、ほとんどの機器で使用可能なため、これらの情報についての知識がなくても問題ございません。

性能仕様

実測値は、可能な限り [AES17](#) に準拠して測定しています。

対応サンプルレート	44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz, 176.4 kHz, 192 kHz
ビット深度	24 ビット

マイク入力

周波数特性	20Hz - 20kHz $\pm$ 0.06dB
ダイナミックレンジ (A 特性)	116dB
THD+N	-100dB (-1dBFS @ 8dB Gain)
ノイズ EIN (A 特性)	-127dBu
最大入力レベル (最小ゲイン)	+16dBu
ゲインレンジ	69dB
入力インピーダンス	3k Ω

ライン入力

周波数特性	20Hz - 20kHz $\pm$ 0.05dB
ダイナミックレンジ (A 特性)	115.5dB
THD+N	-100dB (-1dBFS @ 8dB Gain)
最大入力レベル (最小ゲイン)	+22dBu
ゲインレンジ	69dB
入力インピーダンス	60k Ω

楽器入力

周波数特性	20Hz - 20kHz $\pm$ 0.15dB
ダイナミックレンジ (A 特性)	113dB
THD+N	-80dB (-1dBFS @ 8dB Gain)
最大入力レベル (最小ゲイン)	+12dBu
ゲインレンジ	62dB
入力インピーダンス	1M Ω

ライン出力 (バランス)

周波数特性	20Hz - 20kHz $\pm$ 0.02dB
ダイナミックレンジ (A 特性)	120dB
THD+N	-109dB
最大出力レベル	+16dBu
出力インピーダンス	100 Ω

ヘッドフォン出力

周波数特性	20Hz - 20kHz ± 0.1dB @ 33Ω/300Ω
ダイナミックレンジ (A 特性)	112dB @ 33Ω 115dB @ 300Ω
THD+N	-99dB @ 33Ω (Minimum) -108dB @ 300Ω (Minimum)
最大出力レベル	+2.5dBu into 33Ω +10dBu into 300Ω
最大出力電力	32mW into 33Ω 22mW into 300Ω
出カインピーダンス	50Ω

物理的特性と電気的特性**アナログ入力**

コネクタ	リアパネル Neutrik® XLR コネクタ x2 フロントパネル Neutrik® 6.35mm (1/4 インチ) ジャックソケット x2
マイク/ライン切替	自動 フロントパネルの入力に 6.35mm ジャックを接続すると、マイク入力が無効になります。
ファンタム電源 (48V)	フロントパネル 48V (ファンタム電源) ボタン またはソフトウェア内スイッチ
ライン/インストゥルメント切替	フロントパネル Inst ボタン またはソフトウェア内スイッチ
オートゲイン	フロントパネル Auto ボタン またはソフトウェア内スイッチ
クリップセーフ	フロントパネル Safe ボタン
AIR モード	フロントパネル Air ボタン またはソフトウェア内スイッチ

アナログ出力

バランス出力	リアパネル Neutrik® 6.35mm (1/4 インチ) TRS ジャックソケット x2
ヘッドフォン出力	フロントパネル・ステレオ 6.35mm (1/4 インチ) TRS ジャック・ソケット
メイン出力レベルコントロール	プリフェーダー出力レベルメーターつきフロントパネルアナログコントロールノブ
ヘッドフォンレベルコントロール	フロントパネルアナログコントロールノブ

その他の入出力

USB	データ伝送および電源用 USB 2.0 タイプ C コネクタ x1 - 
	900mA
	USB タイプ C コネクタ x1 - 5V DC
	4.5W

重量および寸法

重量	595g (1.31lbs)
高さ	47.5mm (1.87 インチ)
幅	180mm (7.09 インチ)
奥行	117mm (4.60 インチ)

動作環境

動作気温	最大動作温度 : 40°C / 104°F
------	-----------------------

チャンネルの順序

Scarlett 2i2 入力チャンネル

入力	Channel
1	入力 1 (Mic/Line/Inst)
2	入力 2 (Mic/Line/Inst)
3	Loopback 1
4	Loopback 2

Scarlett 2i2 出力チャンネル

出力	Channel
1	Output L (ヘッドフォン左)
2	Output R (ヘッドフォン右)



注記

Outputs 1 および 2 への信号は、ヘッドフォン出力にも送信されます。すべてのライン出力信号が、ヘッドフォン出力からも出力されます。

Windows の再生と録音チャンネルの管理

Zoom、Microsoft Teams、OBS Studio、ウェブブラウザなどの一部の Windows アプリケーションは、プロオーディオソフトウェアで使用される ASIO ドライバをサポートしていません。代わりに、Windows のサウンド設定で公開されているチャンネルにアクセスする、異なるスタイルのドライバを使用しています。

デフォルトでは、Focusrite Windows コンピュータへのインターフェイスでは、ASIO 以外のアプリケーションでは 1 つの再生デバイスと 1 つの録音デバイスが表示されます。

混乱を避けるために、Focusrite ドライバーなら **Windows に表示または非表示にするチャンネルを選択する** これらのアプリに。これは、ASIO ドライバーを直接使用する DAW (Ableton Live や Cubase など) でのインターフェースの動作には影響しません。



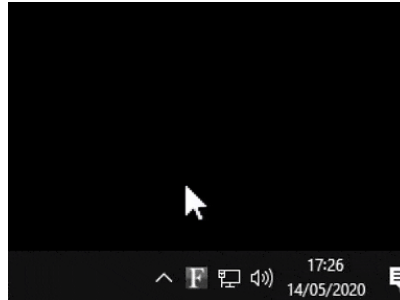
注記

その Focusrite ドライバがインストールされます Focusrite Control 2 いつでも以下からダウンロードできます。

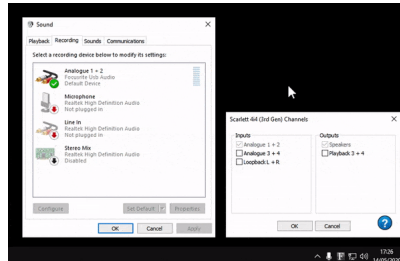
[ダウンロード.focusrite.com](https://www.focusrite.com)

Windows 上の非 ASIO アプリケーションに完全なチャンネルセットを表示するには:

1. クリック Focusrite Windows タスクバーの通知アイコン。これにより、表示/非表示ウィンドウが開きます。



2. ASIO 以外のアプリに表示するチャンネルを選択します。
たとえば、ストリーミングソフトウェアにライン入力 3/4 を使用する場合は、「アナログ 3+4」にチェックマークを付けます。



3. [OK]をクリックします。
4. ASIO 以外のアプリを開くと、入力チャンネルの各ペアが表示されます。



これは ASIO アプリには影響しません

ASIO 互換ソフトウェア (Logic Pro、Ableton Live、Cubase、FL Studio などのほとんどの DAW) は独自のドライバーを使用しており、**すべてのチャンネル** Windows のサウンド設定で非表示になっている場合でも、表示されます。

つまり、DAW の設定に影響を与えずに、Zoom または OBS からチャンネルを非表示にすることができます。

その他の情報

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関するお問い合わせは、Focusrite ヘルプセンター support.focusrite.com にアクセスしてください。

著作権および法定通知

Focusrite は Focusrite Group PLC の登録商標です。Scarlett は Focusrite Group PLC の商標です。

その他すべての商標および商品名はそれらの個別の所有者の財産です。

2025 © Focusrite Audio Engineering Limited. 無断転用禁止。